

教育者としての「使命感」・「人間愛」・「創造力」を有する教員の養成を目指す

2017
夏
No.37

JUEN

【ジュエン】

Joetsu University of Education

国立大学法人
上越教育大学
Joetsu University of Education

学園だより





教育は

未来をつくる仕事

研究室

へようこそ

これからの教師に求められること

新潟県の公立中学校の数学教師などを20年ほど務めた後、上越教育大学に勤務して今年で9年目になります。平成9年から平成11年まで本学の大学院に現職派遣として学んでいたときには、まさか自分がこの大学の教員になって戻ってくると思いませんでした。

大学院を修了し学校現場に戻ったところから、生徒・保護者への対応が複雑で多様になり、多忙感が増してきたように思います。社会の価値観も多様になり、今まで当たり前と考えられていたことも、必ずしも万人に受け入れられるとは限らない世の中になってきました。これから10年先、いや、5年先ですら、全く予想がつかない時代になったと思います。

しかし、確実に言えることは、そんな予測不可能な時代であっても、その時代をつくるのは今の子どもたちということです。そして、その子どもたちを導くのは、私たち大人であり、特に身近で保護者の次に影響力がある教師の果たす役割は大きいと言って良いでしょう。

教育実習の指導や教職に関わる講義を多く担当する中で、これからの教師には、今まで

以上に学び続け、変化に柔軟に対応できる力が求められていると感じています。授業の中で、「大学の講義内容のどれもが小学校や中学校で教えることと繋がっていると考えれば、日々学んでいることはすべて教材研究である」と話すと、学生たちの感想には「自分がやっている今の勉強に価値が見出せた」「明日からの講義にも真剣に取り組もうと思う」という前向きな言葉が書かれています。

教師を目指す学生たちが学び続けることの大切さに気づいて実践してもらうことが重要だと考えています。そして、そのためには私自身も学び続ける教師でありたいと思います。

学生たちへメッセージ

どんな経験もきつと将来の役に立つときがきます。たとえそれが「失敗」した経験であっても。

部活、サークル活動、旅、読書、ボランティア、アルバイト…豊富な体験と人とのつながりが自分自身の人間性を豊かにしてくれます。今しかできないことを思い切りやろう！



中野 博幸 (なかの ひろゆき)

学校教育実践研究センター 教授

新潟県柏崎市出身。新潟大学教育学部卒業。上越教育大学大学院修了。新潟県公立学校、柏崎市教育委員会などで20年ほど勤務した後、2009年に本学着任。専門は、教育工学、数学教育。最近の日報は、畑仕事やDIY。



学部4年
自然系コース (理科)
山崎 千夏 さん

仲間とともに 夢に向かって

上越教育大学には、教員を目指すため、実践的に学ぶことができるチャンスが数多くあります。私は、「目の前にあるたくさんのチャンスに、積極的に取り組む」ということを目標にして、同じ夢を持った仲間とともに今まで大学生活を過ごしてきました。

子どもと関わることのできる様々なチャンス

大学では、教育実習などの必修科目のほかに、選択科目の「学校ボランティア B」やフレンドシップ事業の一環である「学びのひろば」など直接子どもたちと関わる事が出来るカリキュラムや活動があります。私は今まで、これらに積極的に参加し、子どもと関わる機会を大切にしてきました。

様々な活動を通して、たくさん子どもたちと出会いました。その中で、子どもに対する接し方は一様ではなく、一人ひとりにあわせて柔軟に対応していくことが大切であるということ学びました。

経験を重ねるにつれ、教育をすることの難しさも見えてきました。しかし、純粋で、何事にも正面からぶつかり頑張る子どもたちの姿からは感動をもらうことができ、その度に教師になりたいと強く感じます。

同じ夢を持った仲間の存在

私の周りには、私と同じように「教師になりたい」と思い、夢に向かって頑張る仲間がいます。これまで、教育実習などもともに乗り越え、嬉しいときも、辛いときも共有してきました。悩んだときには、一緒に悩み、考えてくれる仲間は、私にとって大切な存在です。

学部4年の今、私は夢を叶えるため、教員採用試験に向けて懸命に勉強をしています。同じ夢に向かい、ともに困難を乗り越えてきた仲間の頑張る姿からはいつも、「私も負けないうくらい頑張ろう」とやる気をもらいます。お互いに励まし合い、高め合える仲間は大きな支えで、切磋琢磨することのできるよきライバルです。

※学びのひろば

「学びのひろば」は、平成10年度に上越教育大学フレンドシップ事業の一環として始まり、「学生が子どもたちとふれあい、子どもの気持ちや行動を理解し、教員としての実践的指導力の基礎を身に付ける」ことを目的に実施してきた事業です。

活動の企画・運営は、すべて学生が中心となり、所属する9つのクラブが「子どもたちの笑顔」のため徹底的な議論を重ね、年7回の活動日に、近隣の小学校に通う子どもたちとレクリエーションや野外活動、工作、運動、2泊3日の宿泊活動などを実施しています。



第一食堂 利用者に聞きました！



学部 4年
臨床心理学コース **日吉 亜美さん**

1人暮らしだとなかなか野菜や魚が食べられていないので、お昼によく学食を利用しています。ご飯・おかず・汁物がついて、1食 300円前後で、大満足です！よく魚とかの料理のプレートを頼んでいます。おやつとして、パイ系のパンもサクサクして甘くて美味しいので、オススメです！！



学部 4年
言語系コース(国語) **飯塚 陽さん**

学食は週に3回ほど、お昼に利用しています。週替わり麺が好きで、様々な種類のラーメンが出るので楽しみにしています。麺類にも野菜や海藻などがたくさん入っていて、栄養価を気にせず食べられます。



大学院2年
自然系教育実践コース(数学) **浦野 正さん**

昼食は毎日利用しています。自炊では肉類が多くなってしまっているので、魚を食べられるのが嬉しいです。そして何と言っても金曜日はカレーが100円引き。毎週おいしく頂いています。今週は唐揚げカレーにしようかな？



学部 4年
言語系コース(英語) **福本 歩実さん**

11時～14時まで食事ができるので、「昼学び」の前後でも友人とおしゃべりしながらご飯を食べられます。寮では作れない唐揚げがのっている、ネギ塩唐揚げ丼をよく食べます。ボリュームたっぷりです。オススメです。



大学院2年
自然系教育実践コース(数学) **葛岡 賢二さん**

毎日昼食で利用しています。夕食もたまに利用します。学食は安く美味しく営業時間も長いので助かっています。普段の食事では野菜を食べて栄養バランスに気をつけています。だから、学食のサラダや小鉢はありがたいです。好きなメニューはネギ塩唐揚げ丼です。



大学院2年
自然系教育実践コース(数学) **秋山 拓也さん**

ほぼ毎日利用しています。実家暮らしなので、基本は家から弁当を持参し、足りない分の栄養を学食の一品料理で補っています。様々な種類の一品料理があるため、飽きが来ず、どの料理も大変おいしいです。弁当のない日は、決まって「油そば」を注文します。あのしよっぱさがたまりません。



ペーカリーも提供しています。



第一食堂

食育サークル「♡Heart♡」が中心となり「上教大食堂通信」を定期的に発行しています。

318席の大きな食堂が第一食堂です。朝、昼、夕と営業していて学生はもちろん、教職員も利用しています。カレーや丼物などのボリューム満点のものや、ラーメン、そばなどの麺類、魚やサラダなど安心・安全で健康面に配慮した豊富なメニューを提供しています。

アラカルト方式で、好みのメニューを好きだけ選べます。



大学会館は快適な学生生活のために欠かせない場所です。食事をしたり売店で買い物をするのももちろんですが、理容室、美容室、第四銀行・ゆうちょ銀行の現金自動預入支払機(ATM)、郵便ポスト、各種自動販売機などがあります。施設内での買い物、食事、喫茶は学生証を使いキャッシュレスでも利用できます。

また、大学生協ではない地元の業者が主体で運営していて、地元スタッフによる温かいサービスが受けられるのが魅力です。



POTATO

談話室として、いつでも自由に利用することができます。気の合う仲間と学生生活を語り合えるのでは？



課外活動やクラス等のミーティング・セミナー等に使用できます。
(使用許可が必要となります。)

第2 集会室



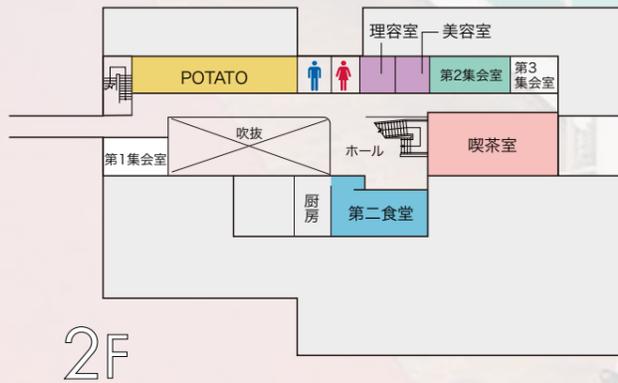
第二食堂

第一食堂とは違った雰囲気、ゆっくり静かに食事をしたい時に利用してはいかがでしょうか。フリードリンク付きで値段もお手頃です。



理容室 & 美容室

理容室と美容室は予約をして授業の合間など都合の良い時間に利用することができるのでとても便利です。



売店

売店（上越教育大学サービスセンター）は、食料品、日用品、文房具、書籍などの販売からクリーニング、宅配便の受付もしてくれます。授業で使用する教科書や専門書なども揃っています。

また、大学のイメージキャラクター「マナーブ・デ・ジョーキョー先生」のグッズや大学のロゴマークの入ったオリジナルパッケージで上越のお米や味噌等を販売しています。是非、お土産に購入してみたいかがでしょうか。



ATM & 自販機

ゆうちょ銀行、第四銀行のATMと郵便ポストがあります。電光掲示板付きの自動販売機もあり、報道ニュースが流れています。また、災害時には緊急飲料として提供されます。なお、図書館、体育館、人文棟、キャンパスライフスクエアにも同様の自動販売機が設置されています。



喫茶室

喫茶室「COCOLOCO」は市内にある落ち着いた雰囲気の喫茶店そのものです。辛さを選べるカレーライスが人気があり、地域の方も利用しています。

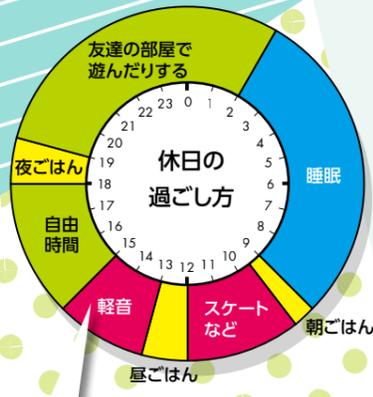
学生はもちろん、教育や研究をサポートしている教職員に対しても福利厚生の役割を担う大学会館。人とのコミュニケーションを図る場所としても機能を発揮する大学会館を使いこなして、充実したキャンパスライフを送りましょう。

その他にも、こんな施設があります。

わたしたちの1日

聞いてみました!

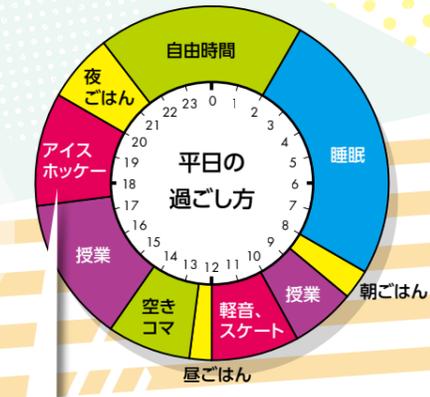
- ①名前
- ②学年・コース
- ③宿舎 or アパート
- ④出身
- ⑤好きな時間



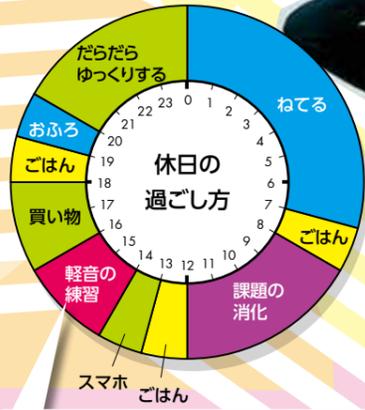
- ①鍋島 矢宏
- ②学部1年・D3クラス
- ③宿舎
- ④石川県
- ⑤ライブに行ってる時



納得するまで、とことん練習!



市内にスケート施設があります



- ①中山 優香
- ②学部1年・C3クラス
- ③宿舎
- ④長野県
- ⑤授業が終わった時間



キャンパス内に楽器の練習ができる施設があります



冬に向け、楽しみながら体力UP!



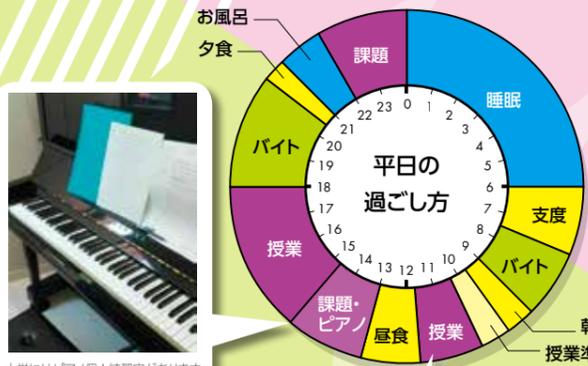
「学びのひろば」の企画・運営は学生が行います



- ①宮崎 華帆
- ②学部2年 芸術系コース (音楽)
- ③宿舎
- ④長野県
- ⑤洗濯物を干しているとき



キャンパス内は緑がたくさん!



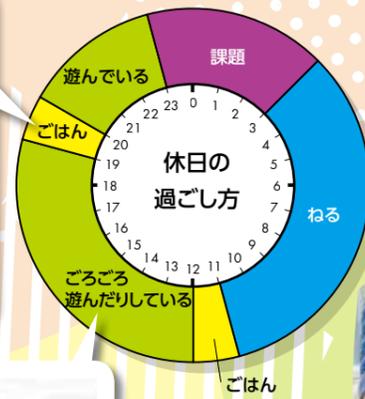
大学にはピアノ個人練習室があります



少人数による授業で教員とコミュニケーションがとれます



市内には飲食店がたくさんあります



友達と車で出かけたら、ハトがたくさんいて…記念撮影!

- ①田中 雅人
- ②学部3年
- ③言語系コース (国語)
- ④アパート
- ⑤新潟県
- ⑥夜ゲームをしているとき



空き時間を利用して、課題に取り組みます

編集後記

とても興味深く楽しい取材となりました。取材を受けてくださった4名の方ありがとうございました!

- 茂木 健太郎 学部2年 自然系コース (理科)
- 市村 奈々 学部1年 C4クラス
- 玉田 涼子 学部1年 C4クラス
- 川尻 圭 学部1年 A4クラス

食育サークルを紹介します

食育サークル♥Heart♥は、2015年に発足したばかりの新しいサークルです。「食べることが好きな人」や「料理が好きな人」、「野菜を育ててみたい人」など、様々な想いを持った人が集まっているサークルです。学部生11名と院生12名の計23名で、楽しく和気あいあいと活動しています。

活動日は決まっていますが、みんなの予定を合わせながら、調理実習や一品持ち寄り弁当の日、上教大食堂通信の作成、朝食レシピ開発、無農薬野菜の栽培など活発に活動しています。また、メンバーの中から「カニ漁をしてみたい」、「工場見学や牧場に行ってみよう」という意見が出た場合には、その意見を取り入れた活動を企画するなど、みんなで意見を出し合いながら作り上げていく、そんなサー



クルです。時には、大学の近くにあるおいしいごはんが食べられるお店にみんなで食べに行く…なんてこともしています。

食を通してつなげる輪

♥Heart♥は、Health（より健康に）・Eat（楽しく食べよう）・Appreciate（感謝の気持ち）・Relationship（つながろう）・Together（みんなで一緒に）をコンセプトにしています。食べることは、生きることです。毎日食べているものが、自分の体をつくっています。特に、大学生や大学院生になると、自分で食事や生活の管理をしなければなりません。だからこそ、このサークルで毎日の食事や健康について考える時間を作ってみませんか。一人一人得意なことや苦手なことがある中で、それぞれの想いを共有しながらみんなで食について考え、話すことができる場です。年齢や学年関係なく、仲良く活動しています。「食」を通して多くの人とつながり、地域での「輪」を広げ、「食育のできる先生」を目指してみませんか？



DATA

平成29年6月現在
部員数/23人
活動日/月2~4回
活動場所/
健康科学・食教育実験室
(体104)
活動実績/
JAえちご上越あるんの杜
朝食副菜レシピ開発
浦川原・宿泊体験交流施設にて
レシピ開発

【取材協力者】
M3 生活・健康系コース(学校
ヘルスケア) 北條 真菜

ラグビー部

勝つためにできること

部員のほとんどが大学からラグビーを始めました。週4回の練習の他にも各自でウエイトトレーニングを行ったり、プロの試合の動画を見たりなど、試合での勝利を目指して一人ひとりが努力をしています。初心者が多い分、1つ1つの練習をただこなすだけでなく、その練習に何の意味があるのか、試合でどのように生きてくるのかなど、目的のある練習ができるよう心がけています。部員一人ひとりがチームでの役割を自覚し、勝つために何をしなければならぬのか、自分の強みは何なのかなどを日々考えながらラグビーと向き合っていきたいです。

one for all all for one

ラグビーには「1人はみんなのためにみんなは1人のために」という考えがあります。どんな辛い練習や試合もこの言葉を思い出し乗り越えています。自分自身もこの精神に魅了されラグビーをしています。また、ラグビー部は現在、地元のラグビースクールや

高校、社会人の方々、OBの方々を支えられながら活動しています。そのような方達と共に練習をし、日々汗を流しながらラグビーから多くのことを学んでいます。試合に勝つことは1番の目標ですが、試合をしてくださる相手チームやマネージャー、レフリーの方々など全てのラグビー関係者に感謝の気持ちを持って試合や練習に臨んでいます。選手として技術の向上はもちろんですが、礼儀や感謝の気持ちを持つなど1人の人間として成長させてくれるのがラグビーです。一人ひとりがラグビーの良さを体と心で感じ、選手として人として成長できるのを目標に日々の練習や試合に励んでいきたいです。



DATA

平成29年6月現在
部員数/21人
活動日/毎週月、水、金、土曜日
活動場所/大学グラウンド
活動実績/
全国地区対抗 関東2区予選出場

【取材協力者】
学部3年 生活・健康系コース(保健
体育) 増田 拓巳



「感性」のはたらきを
大切にした
教育活動をつくる

「創造活動」をご紹介します

当校では「感性」を「包括的・直感的に行われる心の動き及びその能力であり、知性と相補的にはたらきながら、よりよい『自分』をつくる土台となるもの」ととらえて教育活動をつくっています。

その中核となるのが「創造活動」です。「創造活動」は年間を貫くテーマを基に、「夢」の実現に向かいながら、生きる喜びをつくる活動です。「材」と深くかわる活動を繰り返し、生きてはたらく知識・技能を身に付けると共に、自らの価値観を基に行動・判断する子どもを育てています。



4年2組
森めぐり人

森の中でも人や人にはたつきかけながら自然の豊かさを感じたり、仲間とともに自然とのつながりをつくったり、自然に対する見方や考え方をひろげたりします。



1年1組
らんらん
ランド

原っぱで生きものや場に全身をひろげてかかわったり、自分もヤギも友だちも楽しめる場をつくったり、学校での生活を豊かにしたりします。

5年1組
赤倉
Network



妙高市赤倉を訪れ、自然や人とつながったり、体験の感動を仲間と分かち合ったり、社会と人間との関係を見つめたりします。



2年2組
ぽかぽか
レストラン

料理をして食べることを楽しんだり、レストランとして料理を他者にふるまったり、食べる環境をよりよくしようとしてつくりかえたりします。

6年2組
匠
モノがたり



手先の技術から価値を生み出す職人とかかわりながら、手から生み出されるモノのよさやつくり出されたモノの価値について考えたり、職人やモノから社会の現況を見つめたりします。



3年1組
自遊パーク

地域で出会う人・もの・ことにはたつきかけたり、仲間と共に公園のとらえをつくり変えたり、地域の中で自分らしく生きることについて見直したりします。



充実感と幸福感でいっぱいの2年間

「もっと音楽について知りたい」、「先生になりたい」と思い上越にきたものの、入学式の日には不安で押しつぶされそうでした。講義についていけないだろうか？修士論文を書けるだろうか？2年間やっていけるだろうか？と。ですが、1週間も経てばそんな不安も消えていました。各分野の専門家である先生方による魅力的な講義、充実した環境の中で一から指導が受けられる日本の伝統音楽の演習、時間が過ぎるのも忘れてしまうほど盛り上がるゼミの時間。これらは、それまでの私の音楽観・教育観を見直すきっかけになりました。音楽コースは賑やかで、全国各地から入学した様々な経歴を持った人たちと一緒に、レストランへ演奏に出かけたり、学園祭でガムランの演奏をしたり、上教大でなければできなかった経験を積みました。佐渡でのゼミ活動も忘れられませんが、夏は能舞台で地域の皆さんと発表会をし、秋は集落のお祭りや伝統芸能「鬼太鼓」を打ちました。あっという間に2年生になり、修士論文を提出し、それをもとに学会で発表もさせていただきました。印象深い出来事は挙げればきりがありません。音楽コースの皆さんと色々なことに挑戦し、音楽や教育について、時にはくだらないことにも真剣になった、充実感と幸福感でいっぱいの2年間でした。



青山 梨紗子
(あおやま りさこ)

北海道札幌市出身。札幌大谷大学芸術学部音楽学科ピアノコース卒業後、上越教育大学大学院芸術系コース(音楽)へ進学。玉村恭准教授の研究室に所属し、ハンガリーの楽器「ツィンパロン」について研究を行った。平成29年3月修了。現在、札幌大谷中学校・高等学校にて、非常勤講師及び助手として勤務。

今年の3月に修了し、4月からは念願かなって母校に勤めています。中学校には音楽コース、高校には音楽科があり、音楽が大好きで仕方がない！という生徒たちと一緒に過ごしています。うまくいかないことの方が多いですが、数か月前の自分と同じ、充実感と幸福感でいっぱいの毎日です。



上教大 なんでも 掲示板

五八学法人上越教育大学・十日町市

連携協定締結式



関口十日町市長(右)と川崎上越教育大学長(左)

十日町市と包括的な連携協力に関する協定を締結

上越教育大学は、4月14日(金)、十日町市との包括的な連携協力に関する協定を締結しました。

この協定は、上越教育大学と十日町市の包括的な連携の下、文化、教育、学術研究等の分野で相互に協力することにより、人材の育成と地域社会の発展に貢献することを目的とするものです。

十日町市役所で行われた締結式には、十日町市から関口芳史市長、村山潤副市長他4名、上越教育大学から川崎直哉学長、梅野正信理事兼副学長他2名が出席しました。

締結式で関口十日町市長は「大地の芸術祭への学生参加、ほくほく線の利用促進のほか、地場産品を活かした農業やヘルスケアなどの分野で協力し、地域振興につなげたい」と述べられ、川崎学長は「本学にはあらゆる分野のスタッフが揃っている。多様な取り組みに対して協力していきたい」と今後に向けた期待を語りました。

今後は、十日町市内の学校等を利用した教育実習や教員研修など、教育研究活動の推進のほか、本学が持つ幅広い分野の知識・技術を活かした地域の活性化が期待されます。



必勝を誓う参加者

就職試験受験者激励会(出陣式)で学生を激励

6月14日(水)に「就職試験出陣式」を開催し、6月末から始まる教員採用試験に臨む学生たちを激励しました。教授直前ガイダンス「今年はここが狙われる」の後に行われた出陣式には、100人余りの学生と教職員が参加しました。

初めに、プレイメントプラザ室長の直原副学長が「みなさんの可能性を信じて応援している。是非がんばってほしい。」と激励し、木刀で夢想神伝流の型による四方露払いの儀式を披露しました。

続いて、激励パフォーマンスでは、地元の「越後上越 上杉おもてなし武将隊」による演武が披露されました。

また、受験者を代表して学部4年の大滝元さんは「信頼される先生になるためにも、まずは教員採用試験を突破し自分の夢をかなえたい。」、教職大学院の米田優衣さんは「大切なのは自信を持って行動すること。みんなで一緒に合格しましょう。」と決意を表明しました。

就職委員会の桐生教授からは、自身の教員採用試験でのエピソードをもとに「自分の中に理想とする教師像を作ることによって自信が生まれる。その自信を持って試験に臨んでほしい。」とエールが送られ、「絶対合格」の勝ちどきをあげました。

最後に参加者全員が集合し、「就職試験へ、いざ出陣」の掛け声で必勝を誓いました。

「上越教育大学基金」ご寄附のお願い

上越教育大学では、法人の財政基盤の強化を図るとともに、独自の学生支援や教育・研究活動支援等の諸事業を推進し、本学の教育・研究機能の強化と魅力づくりに努めることを目的に「上越教育大学基金」を設置しています。企業、団体、個人のみなさまからのご支援をお願い申し上げます。

- 基金が行う事業
- 学生支援事業
 - 国際交流支援事業
 - 教育研究支援事業
 - 地域貢献事業
 - 附属学校整備事業
 - キャンパス環境等整備支援事業
 - その他本法人の諸活動支援事業

税法上の優遇措置

〔個人の皆様からのご寄附〕
所得税控除等を受けることができます。
〔法人の皆様からのご寄附〕
寄附金の全額を損金に算入できます。

寄附の申込み

振込用紙によるご寄附 / 上越教育大学基金のホームページ「寄附申込フォーム」より、振込用紙をご請求ください。
現金によるご寄附 / 現金でのご寄附を希望される方はお手数ですが、お問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先 上越教育大学総合交流推進室(上越教育大学広報課内)
〒943-8512 上越市山屋敷町1番地 上越教育大学事務局(2階)
TEL 025-521-3292 FAX 025-521-3627 E-mail kikin@juen.ac.jp

静岡山屋敷の会事務局



平成 29 年 2 月 4 日 (土) に開催した「静岡山屋敷の会 第 13 回総会」

本年度で14回目の総会・講演会を迎える静岡山屋敷の会。これまでの13回では、佐藤芳徳前学長様を始め、林泰成副学長様、安藤知子様、戸北凱惟様(当時副学長)、高田喜久司様(当時副学長)、渡邊隆様(当時学長)に講師を依頼し、当時における「今後の大学院のあり方」や「学習指導要領の方向性、教師教育のあり方等」について御講話をいただけてきました。

特に前回(第13回)では、教育現場で試行錯誤が続くアクティブ・ラーニングについて、素晴らしい実践を紹介してくださった水落芳明様とともに何度も静岡まで足を運び静岡山屋敷の会を支えてくださった佐藤芳徳様の御退官をお祝いする会を開催できました。

静岡山屋敷の会は、初代・工藤榮一会長、2代目・渡邊勉前会長から2年前に3代目・野田隆現会長にバトンタッチされ、歴代の会長や副会長、幹事の方々が、熱意をもって会の統制を図り絆を深めてきたからこそ、毎年30人近くの会員が集まり、最後は笑いあふれる懇親会が開催されてきました。

今後は、まずは20回を見据えて充実した勉強会を企画し、参加する会員の教師力を高めていけるよう努めていきます。さらには、新たな会員が集い、

静岡山屋敷の会がより一層充実していくよう、事務局として尽力していきます。そして、人生で最高の学びの場となった上越教育大学がますます発展されることを、陰ながら支えていける静岡山屋敷の会でありたいです。

浜松市立雄踏中学校

岡田芳樹

修了生の住所等をお知らせください

転居・転職・結婚等により個人情報の変更があった場合は、お知らせください。

詳細については、公式ホームページをご覧ください。

上越教育大学 同窓会

お問い合わせ先 上越教育大学大学院同窓会事務局
E-mail dousoukai@juen.ac.jp

「学び続ける教員を目指して」

夏の日差しと暑さを強く感じる季節になりました。学習指導要領が改訂され、例えば小学校は平成32年度から、中学校は平成33年度から実施とのこと。詳しくは文部科学省のホームページなどをご覧いただければ良いと思いますが、「学習指導要領改訂のポイント」では、まず「未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成」があげられています。未来社会については国内の研究も、10〜20年後には国内労働人口の49%にあたる職業について、AI(人工知能)やロボットで代替される可能性が高いという推計を発表するなど、内外の研究機関等が今の子供たちが日本を支える年代になったときには想像もできないような社会になっていることを示唆しています。

そのような社会を切り拓くために、実践すべき事柄としてあげられているキーワードだけ見ても、教科等横断的な学習、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)、理数教育、伝統や文化に関する教育、道徳教育、体

験活動、外国語教育、情報活用能力(プログラミング教育を含む)など学びの質に関する内容や、障害に応じた指導、学級経営や生徒指導など多くの事柄があげられています。しかし最も重要な学校現場での具体的な実践については、それぞれ現場の教員に任せられています。いくらAIやロボットが進化しても、人間を相手にしている「教育という活動」では、教員は永遠に大きな役割を担い続けることでしょう。そのためには教員は常に自分で思考しながら学び続ける必要があります。本学に在籍する間に多くのことを学び、学校現場でも学び続けることができる教員となっていたことを期待しています。

最後に、上越(高田)が生んだ児童文学者小川未明の詩「雲の如く高く、くものごとくかがやき、雲のごとくとらわれず」のように、学校教育に関して高い理想を掲げ、輝くような教員を目指して、自由な雰囲気の本学キャンパスで学ばれることを願います。



学長 川崎直哉

インタビュー 大学院で

輝く人



入学のきっかけ

大学では音楽と美術を勉強していましたが、卒業後は地元上越市で歯科助手として働いていました。また、幼少より通っていたダンス教室で指導を任されるようになり、仕事と芸事の両立に日々追われていました。年少から高校生までの子供たちに指導していく内に、より良い指導のあり方や子供の発達についてもっと学びたいと思うようになり、本学の教育職員免許取得プログラムにて勉強することを決めました。

大学院での充実した活動

大学院入学後は、仲間と美術展やアートイベントを開催する等、自分の力を発揮できるような機会をつくり、自分の成長へと繋げていきました。ダンスパフォーマンス時には、音楽科の学生や地元上越市で活躍するシンガー

大学院2年 芸術系教育実践コース(美術) 田中 詩穂さん

と共に、アートの輪が広がっていることも実感します。今後の地元上越市における我々の活動として、8月に旧第四銀行高田支店でのアートイベントを企画しており、形になるのが楽しみです。また今年度から、チアダンス教室での講師も務めることになり、指導者としての幅も広がりつつあります。

一方で、イベントポスターや学生手帳等のデザインの仕事を通して、改めてデザインの面白さに気が付かされました。デザインの力を試すチャンスは、美術科の先生方が与えてくださり、用途・目的に合う効果的な配色や構図を考えていくのが楽しくなってきました。現在は、妙高市役所による地

元食材を使った商品開発にデザイン部門で携わっており、ブランディングについても勉強する機会となっています。卒業後の進路については、教職ではなくデザイン職に就くことも考えております。

さいごに

本大学は、教育に関することや専門領域の勉強の他に、様々なバックグラウンドを持つ人との出会いがあります。多様な価値観が存在している環境下に身を置くことで、柔軟な思考性が身に付き、人間性も育まれるのではないのでしょうか。



インタビューを終えて

デザイン、ダンス、コラボレーション等、積極的に活動の幅を広げ取り組んでいる田中さんには美術コースの学生もいつも刺激をたくさんもらっています。一つ一つの企画に対し取材、分析して真摯に取り組む姿がジャンルを異にしても豊かな表現力となって表れてくるのだと思います。そうした成果が人のためになるのが好きだという田中さん、どのような場を進路としていくのか、これからの楽しみですね！

■ 聞き手・文(写真左より)

大学院2年 芸術系教育実践コース(美術) 家崎 萌(本人)

免P = 教育職員免許 取得プログラム

本学大学院入学で、教員免許を持っていない方や他校種、他教科の教員免許を取得したい方を対象に、長期履修学生制度を利用し、2年分の学費で3年間在学し、大学院の教育課程と学部の教員養成カリキュラムの単位を取得することにより、教員免許状取得の資格を得ることができるプログラムです。



アンケートにご協力ください

公式ホームページにおいて本誌に関するアンケートを実施しています。左のQRコードを読み込むことで、携帯端末からもご回答いただけます。QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

JUEN 上越教育大学学園だより
2017 夏 No.37(平成29年7月発行)

編集・発行

上越教育大学情報・広報委員会

デザイン・監修

安部 泰

(芸術・体育教育学系 准教授)

制作

株式会社 桐朋

お問い合わせ先

上越教育大学広報課

〒943-8512

新潟県上越市山屋敷町1

TEL 025-521-3626

FAX 025-521-3627

E-mail kouhou@juen.ac.jp

URL <http://www.juen.ac.jp/>

公式ホームページから、

バックナンバーの閲覧ができます。

※本誌掲載の文書・記事・写真等の無断転載はお断りします。